

# 隣保館だより

第393号

2019年 3月号

発行◎九重町隣保館

大分県玖珠郡九重町大字右田3088-2

TEL: 0973-76-2468 FAX: 0973-76-2446



せい えん  
声 援

こころ はな とど  
心に花を届けよう

せいえん ゆうき かんしゃ かんどう  
声援・勇気・感謝・感動

はし すがた ちから  
走る姿に力をもらい

がんば がんば  
頑張れ 頑張れ

こころ こころ  
心と心がつながる

## 九重町隣保館人権学習会(子どもの人権)



2月20日(水)に、社会福祉法人 別府光の園 統括施設長の松永 忠(まつなが ただし)さんを招いて、子どもとの暮らしの中に見つけた「小さなこと」「小さな幸せ」～子どもの人権を考える～と題してお話していただきました。

大分県には、児童養護施設が光の園を含め9ヶ所、母子生活支援施設(母親と子どもが利用する施設)が3ヶ所、そして、乳児院が1か所あります。

また、大分県は全国で一番最初に行政が子どもを支えた県ということです。

話の中で、今年千葉県で起きた小学校4年生の女児の死亡事件について触れました。「何度も助けてほしいとサインを出していたにも関わらず、誰も彼女を助けることができなかった。私たちは、この事件を通して二度とこのようなことが、無いようにしていかなければならない。

学校や児童相談所などの専門機関がとる対応についても、それぞれの機関が持つ力を集めて連携して向き合うことが必要で、そうでなければ大切な「命」を守れない。仕事として向き合うと、専門的な知識や立場といったプロフェッショナルな部分で対応してしまうことがあるが、人としての温かさ・人格といったパーソナルな部分を合わせ持って向き合うことが必要である。」つまり、専門性は豊かな人間性によってはじめて生かされるということでした。



また、松永さんは、これまで多くの子どもたちと共に暮らし、その成長を見てきた経験から、子どもの豊かな成長に「良い環境」「良い関わり」「良質で安心な食事」が必要で、大人は、「小さなこと」「小さな幸せ」を見つけ出す心、ありふれた日常を生かし、子どもたちが何に幸せを感じているかということに目を向けていく必要があると話していただきました。

私たち大人は、生まれてきてくれた命を大切に育てていかなければなりません。

### 参加者の感想の一部を紹介します。

◎最近、こどもが犠牲となる事件が多く、児童福祉に関心を持つようになりました。

行政という立場で、専門性を持たなければいけないと感じていましたが、それより人間としての温かさ、人間性を高く持っておかなければいけないと痛感しました。

今以上に視野を広げ、安心できる環境づくりに少しでも力になれるようにしていきたいです。

## 九重町隣保館ハッスルシルバース つばき会 《駅伝応援》



第61回県内一周大分合同駅伝競走大会3日目が2月20日(水)に行われ、選手たちが、隣保館前を通過しました。隣保館ハッスルシルバースつばき会のメンバーが元気いっぱい応援しました。応援のテーマを「心に花をとどけよう」と決め、タスキをつなぐ駅伝、応援をとおして、心と心をつなぎ、みんなの心に花(声援の花・勇気の花・感謝の花・感動の花)を届けました。

手作りの花笠を頭に、手に花、しゃもじを持ち、九重町隣保館のキャラクターの「りんたくん、みらいちゃん」のハッピーを着て、頑張れ!頑張れ!と選手全員にエールを送りました。

## 東飯田小学校5年生児童来館

### ～避難所について学習しました～



1月29日(火)、東飯田小学校5年生が避難所について学習するため、九重町隣保館へ来館しました。

九重町隣保館は災害時の避難所に指定されており、備蓄倉庫があります。備えあれば憂いなしと言いますが、せっかく備えていても使い方を知らなければ、いざというときに困ります。

この日は、役場危機管理情報推進課の方が来て詳しく説明してくれ、非常食のカンパンと氷砂糖が配られました。

児童の皆さんから、備蓄倉庫の中にある道具についてなど積極的に質問が出されました。

今、災害が起きたら、どこに避難すればよいか、また家の備蓄はどのようになっているか、みなさんは確認していますか?



## 平成30年度大分県人権啓発重点課題研修会開催

毎年、様々な人権課題の中から、特に重点的に啓発すべき課題を取り上げて実施される研修会が2月18日(月)に大分市において開催されました。

今年は、昨年に引き続き、「LGBTQ」※(性的少数者)の人権」として、映画「虹色の朝が来るまで」の上映会と映画の監督である今井ミカさんによる講演会が行われました。

「虹色の朝が来るまで」の作品は、全編手話と音響からの作品で、字幕を通して、ろう者たちとの交流を通し、LGBTQについて心と体の関係や自分らしく生きることの大切さを伝えてくれました。又、ろう者であり、性的少数者でもある今井ミカ監督の講演からLGBTQについての学びの必要性と理解、また自分らしさを失わず、生きていくことを強く感じる講演会でした。

※L(レズビアン)G(ゲイ)B(バイセクシュアル)T(トランスジェンダー)Q(クエスチョニング)  
性のありかたは、ほかにもたくさんあります。

### ☆新規購入 DVD貸出し 個人・団体・会社でもお気軽にご利用ください

DVDの題名	内 容	上映時間
あの空の向こうに —ケータイ・ネット社会と人権—	ケータイやインターネットによる人権侵害はいつ、だれの身に起きても不思議ではない深刻な問題です。だれもが被害者に、そして加害者になりうるのです。	38分
「部落の心を伝えたい」 「恥ずかしい」のはどっちだ 差別する側・される側	稚拙な同和教育を批判するときに誰もが一度は口にするタテマエ・タテジワ・タニンゴト。 部落差別解消推進法の施行後の今、新しい解放教育とは？	27分
そんなの気にしない —同和教育—	人権の基本は、相手を思いやり大切にすること、そして、自分の尊厳を守り大切にすることです。	17分



### ◇これからの行事◇

【月・木は人権相談日】

月 日	行 事 名	月 日	行 事 名
3月19日(火)	編み物教室	4月 5日(金)	生け花教室
3月20日(水)	デイサービス事業(ひまわり会)	4月 8日(月)	編み物教室
	吉部解放学習会(飯田公民館)	4月 9日(火)	デイサービス事業(飯田ふれあいサロン)
3月25日(月)	歌声サロン	4月10日(水)	パワーアップ教室2
		4月11日(木)	デイサービス事業(つばき会) 陣の内解放学習会(九重文化センター)
		4月15日(月)	編み物教室
		4月16日(火)	パワーアップ教室1
		4月17日(水)	吉部解放学習会(飯田公民館)
		4月18日(木)	デイサービス事業(11期生入学式)

#### <お知らせ>

熊谷成人館長につきましては、  
一身上の都合により2月末日を  
以て退職されました。

